

最近の雇用情勢について

(令和7年11月)

青森労働局

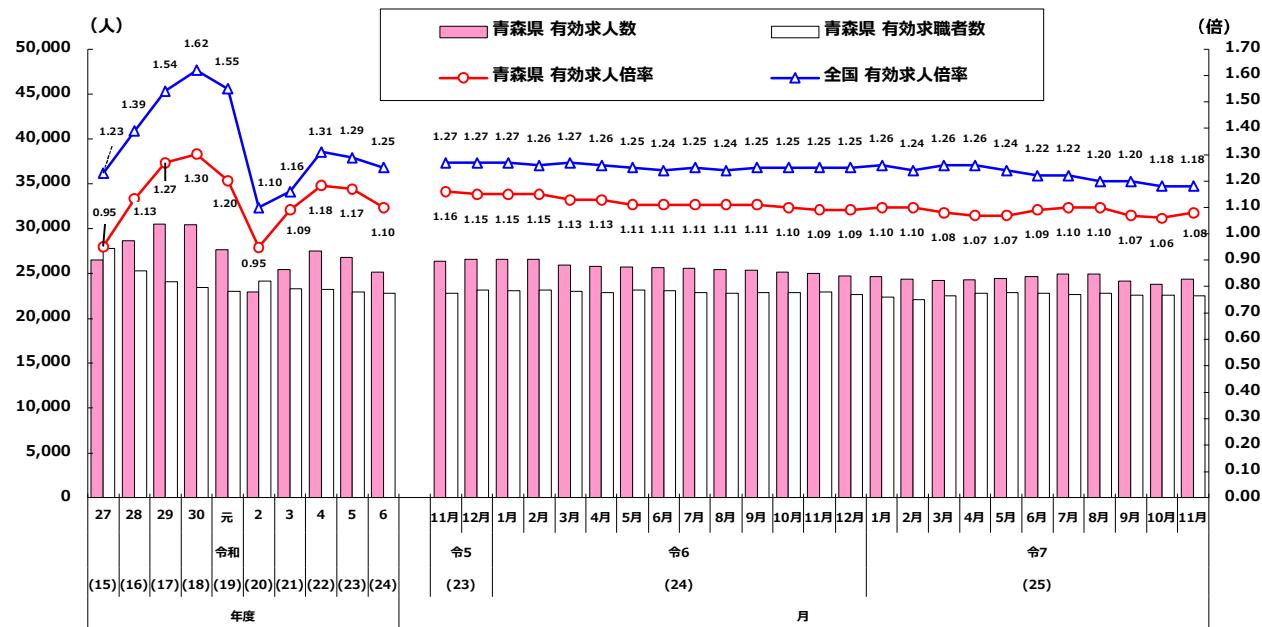
I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)…年度平均は原数値

職業安定部

11月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ2.3%（549人）増加の24,365人、有効求職者数(同)は前月に比べ0.2%（44人）減少の22,519人で、有効求人倍率(同)は1.08倍となり前月と比べ0.02ポイント上昇した。

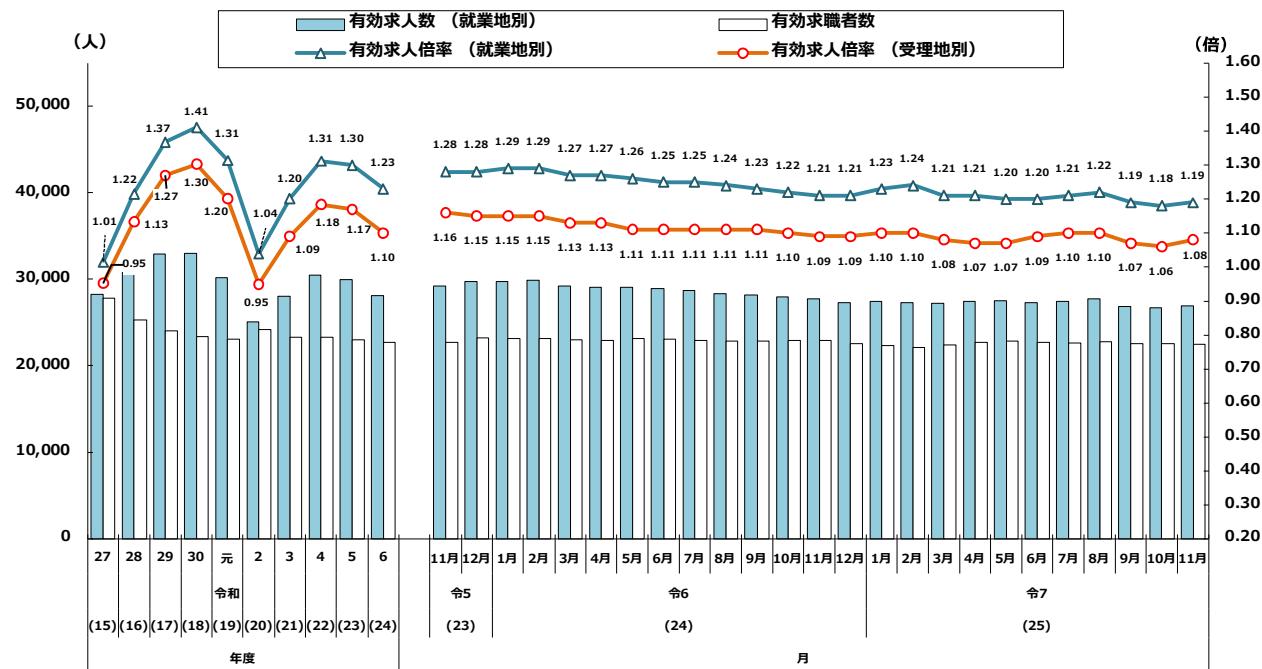
就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.19倍で前月と比べ0.01ポイント上昇し、受理地別の倍率を0.11ポイント上回った。

受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



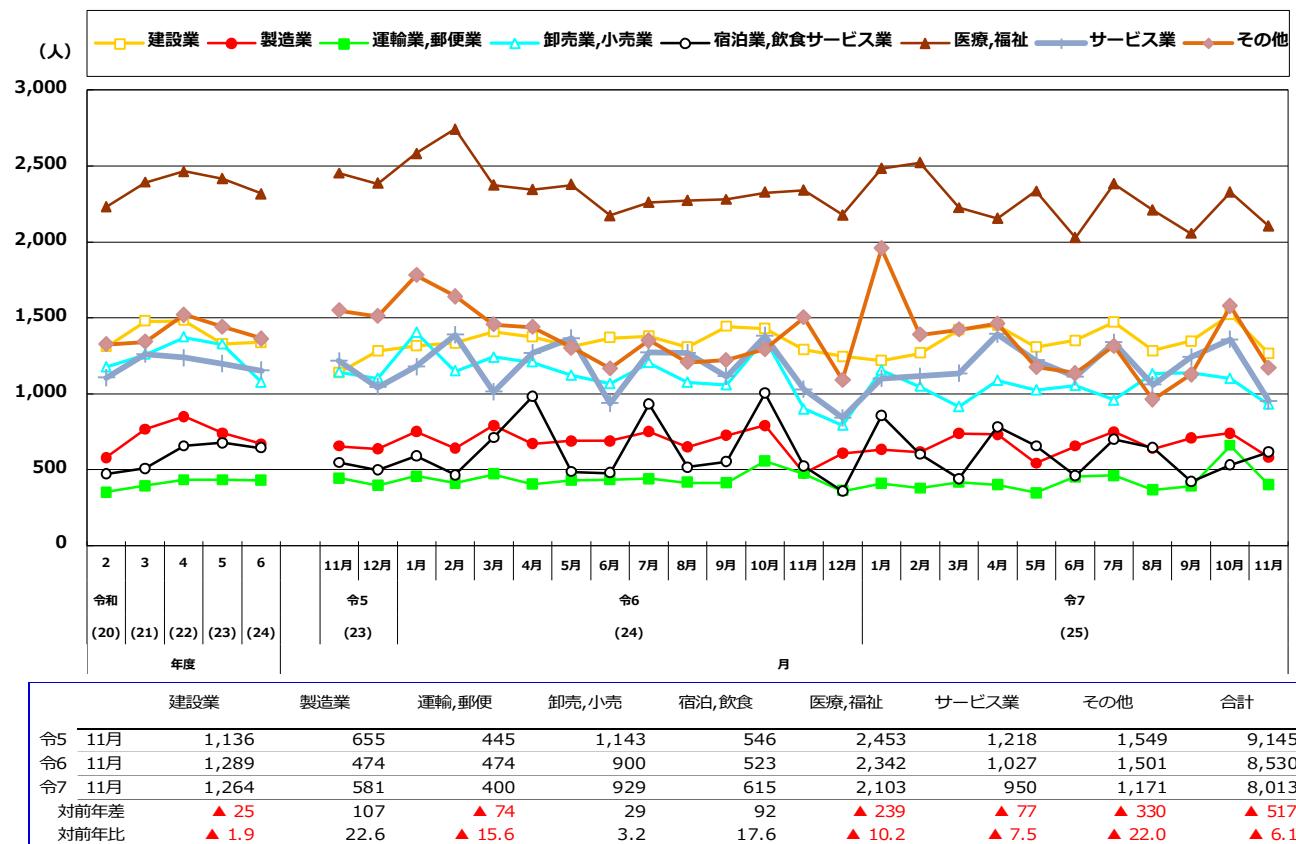
全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和6年12月以前の数値は、令和7年1月分公表時に新季節指数により改定されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

11月の新規求人数（原数値）は前年同月比6.1%（517人）減少の8,013人。

主要な産業の新規求人数（原数値）をみると、前年同月との比較で建設業、運輸業、郵便業、医療、福祉及びサービス業で減少し、製造業、卸売業、小売業及宿泊業、飲食サービス業で増加した。なお製造業のうち、金属製品製造業等で減少し、繊維工業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、輸送用機械器具製造業等で増加した。

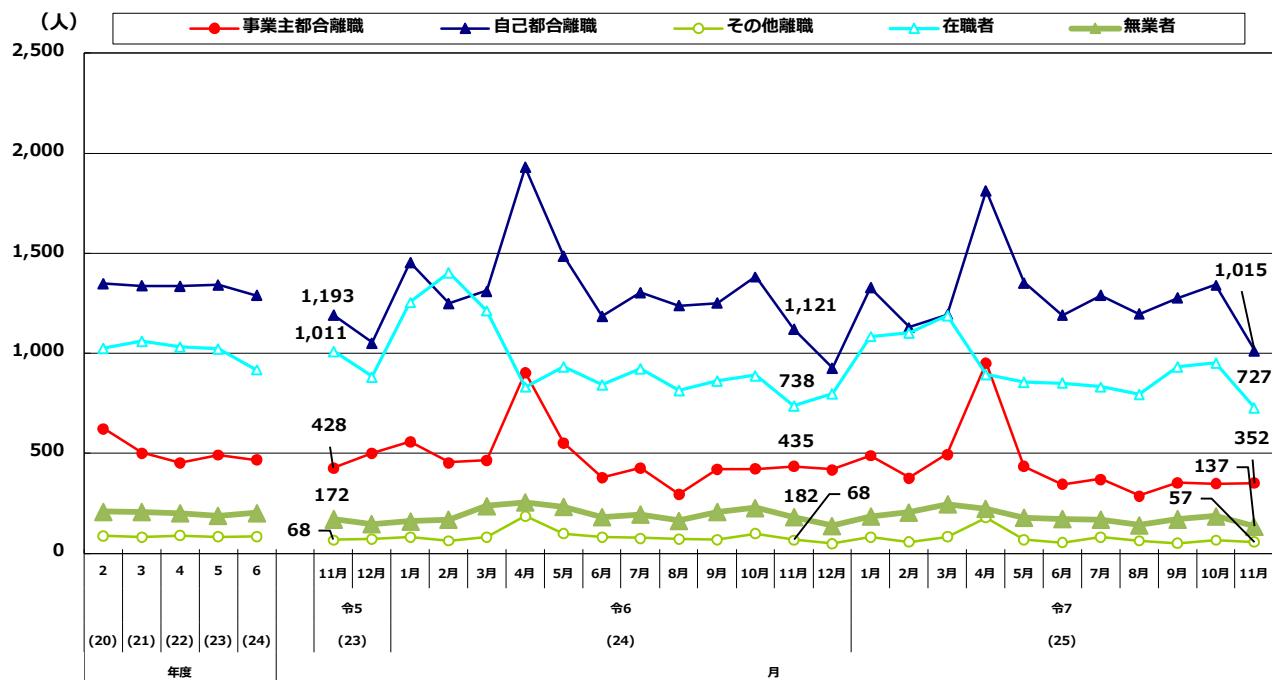


III 新規求職の状況(パートを除く常用)

11月の新規求職者数（パートを除く常用・原数値）は、前年同月比10.1%（256人）減少の2,288人。

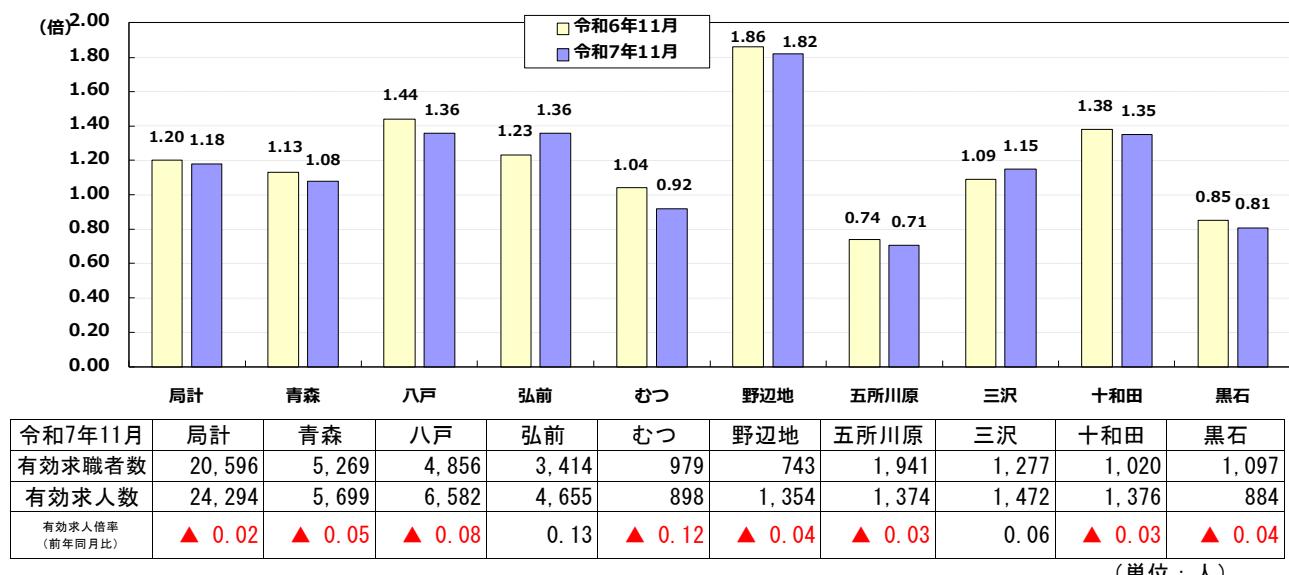
区分ごとに前年同月と比較すると、在職者は1.5%（11人）減少の727人、離職者は12.3%（200人）減少の1,424人、無業者は24.7%（45人）減少の137人であった。

離職理由別では、事業主都合離職は前年同月比19.1%（83人）減少の352人、自己都合離職は同9.5%（106人）減少の1,015人、その他離職（自営廃止等）は同16.2%（11人）減少の57人であった。



IV 安定所別有効求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数…原数値)

11月の局計の有効求人倍率（原数値）は1.18倍となり、前年同月より0.02ポイント低下した。
各安定所の有効求人倍率は次のとおり。



V 雇用保険の状況

11月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比0.0%（1人）増加、前月比では10.3%（594人）減少の5,161人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比8.7%（99件）減少、前月比では22.9%（311件）減少の1,045人となった。※受給資格決定件数は速報値であり、修正の可能性があり得る。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合は、前年同月比40.4%（80人）増加、前月比32.4%（68人）増加の278人となった。

